CNN SPECIAL INTERVIEW

Iconic Portrayal of an Icon

写真：AFP/アフロ

祝！ アカデミー主演男優賞
伝説の政治家チャーチルを怪演！
ゲイリー・オールドマン

第90回アカデミー賞で、『ウィンストン・チャーチル／ヒトラーから世界を救った男』のゲイリー・オールドマンが主演男優賞に輝いた。オールドマンは『裏切りのサーカス』（2011）でも同賞にノミネートされたことはあったが、今回念願の初受賞となった。同映画は、特殊メイクを担当した日本人アーティスト・辻一弘氏がメイクアップ＆ヘアスタイリング賞にも輝くなど、W受賞を果たした話題作だ。オールドマンがアカデミー賞前に、同作品の制作秘話や伝説の政治家チャーチルへの思いなどについて語ってくれた。

■インタビュアー／
クリスティアン・アマンプール
イラン人の父と英国人の母を持つ。生まれはロンドンだが、幼少期はテヘランで過ごした。英国でジャーナリズム養成講座を修了。渡米し、ロードアイランド大学でジャーナリズムを専攻し、首席で卒業。1983年、CNNに入社。数々の紛争地帯で現地取材を行い、ジャーナリストとして高い評価を得ている。

■ゲイリー・オールドマン
英ロンドンの演劇学校を卒業後、1979年に舞台俳優としてキャリアをスタート。『Remembrance』('82年)、『シド・アンド・ナンシー』('86年)に出演後、『JFK』('91年)や『エアフォース・ワン』('97年)などのハリウッド大作でも活躍し、リュック・ベッソン監督の『レオン』('94年)や『フィフス・エレメント』('97年)では悪役で個性を発揮。1958年、ロンドン生まれ。

85 英国を救った偉大な政治家を演じて

Christiane Amanpour You are the talk of the town. People are talking about you as a shoo-in for an Oscar nomination, Golden Globes, and you did just win an award from the British film industry. How does it feel?

portrayal:
《タイトル》描写、演技
the talk of the town:
町中のうわさ、評判
shoo-in:
勝利が確実とされる候補者、本命
☞ 別冊p.26参照
nomination:
指名されること、ノミネート

クリスティアン・アマンプール あなたは時の人でいらっしゃいます。オスカー候補、ゴールデングローブ賞などの本命と言われていますし、英国の映画界から賞を実際受けたばかりです。どんなお気持ちですか。

Gary Oldman It feels very good. I mean, it's always nice when people acknowledge the work and they think it's good. And there's some highs, and there's some lows, you know, as with any career, but at the moment, it's ascending.

acknowledge:
～を認める、評価する
as with any:
どんな～でもそうであるように
at the moment:
目下、現時点では
ascend:
上昇する、登る

ゲイリー・オールドマン 非常にいい気持ちですね。やはりうれしいものですよ、仕事が認められて評価されるのは。どんな職業でもそうですが、いい時もあれば悪い時もある。とりあえず今のところは、上昇中というわけです。

Amanpour You know, you're taking on this unbelievable, I would say establishment icon, Churchill, and your first big film was a completely antiestablishment icon, in *Sid and Nancy*, Sid Vicious. Is there any, sort of, po...poetry in that?

take on:
～を引き受ける、～に挑戦する
establishment:
権力層の
***Sid and Nancy*:**
『シド・アンド・ナンシー』
▶パンク・バンド「セックス・ピストルズ」のベーシストだったシド・ビシャスと恋人ナンシーの実話をもとにした過激なラブストーリー。1986年のイギリス映画。
poetry:
詩的な美しさ、詩趣

アマンプール (この映画で)あなたはチャーチルという桁外れの、私から見れば権力の象徴を演じておられるわけですが、最初の大役は『シド・アンド・ナンシー』のシド・ビシャスという、反権力の象徴そのものでした。そこに何らかの、その、詩的な面白みはあるのでしょうか。

Oldman Well, maybe I'd like to think there is. Winston's a bit of both. He's sort of...he is establishment, and when he...he could be a bit of...antiestablishment too. So I like to think that there's, perhaps,

オールドマン そうですね、おそらくあるのではないでしょうか。ウィンストン(・チャーチル)には両方の気味がありましてね。彼はいわば……彼は権力者ですが、時には……いささか反体制的になることもありまし

強化編